



ようねんぎだより

令和6年11月25日(月) NO. 4

小学校と幼保こども園との交流の様子を2つ紹介します。小学校は、ねらいをもって活動を行うことで、子どもたちの自己肯定感を高めることにつなげています。園では、入学することを楽しみにできるよう、小学校との交流活動を話題にしたり、小学校ごっこを取り入れたりするなど、つながりを大切にしてくださっています。

2つの交流のように近隣の小学校と幼保こども園の子ども同士や先生同士の交流を積極的にすすめ、学びの連続性を確保するためにどのような工夫が必要か、考えていきたいですね。

【多米小学校とゆめの子幼稚園の交流の様子】



こうやって、だるま落としを並べるよ。



あやとりで、まほうのほうきがつくれるよ。



多米小学校の運動会のことを教えてあげよう。とっても楽しいよ。



ゆめの子幼稚園の子が見ている。背筋をぴんとしよう。

【多米小学校側から】

「自分ができるようになった昔遊びを教えたり、一緒に遊んだりする活動を通して、教え方を工夫したり、お兄さんお姉さんになった自分の成長を感じたりしながら、2年生に向けて意欲的に生活することができるようにする。」というねらいをもって、ゆめの子幼稚園の子どもたちとの交流を楽しみました。すすんで幼稚園の子どもたちに昔遊びを教え、学校の様子を教える姿が見られました。

【ゆめの子幼稚園側から】

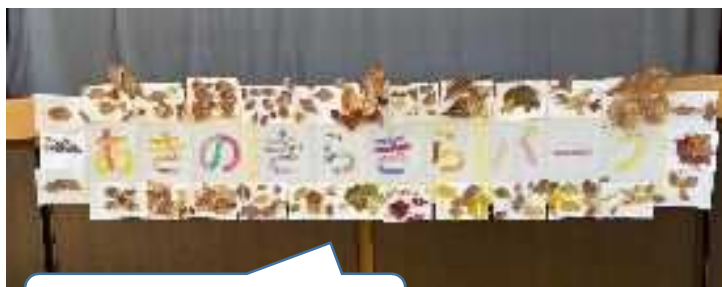
多米小学校訪問では、1年生の子とグループに分かれて伝承遊びをしました。

歓迎してくださった際には、歌を歌ってくれたり、1年生からの温かいメッセージもくれたりして、子どもたちはとても嬉しそうでした。

その後「早く学校に行きたい!」「もうすぐ小学生になるから、これからがんばらなくちゃ!」という言葉が増え、もうすぐ小学生になるという意識が高まってきたことを感じました。

【東田小学校と恵日子ども園の交流の様子】

1年生の生活科学習「秋見つけ」の活動が行われた後、「あきのきらきらパーク」という催しを企画し、年長児を招待してくれました。



1年生が作ってくれた看板



松ぼっくりのけん玉に挑戦。



「10点」「50点」と点数の書かれたカップへの玉入れ。1年生が応援してくれました。



落ち葉で作ったトランプで神経衰弱をしました。



ゲームをクリアすると、スタンプを押してもらえます。

【東田小学校側から】

「園児と楽しく遊ぶために、相手のことを考えて準備をしたり、相手のために活動してきた自分の成長に気付いたりできるようにする。」というねらいをもって、交流会を開きました。

「園の子ども達を楽しませる」という目標をたて、その目標に向けて一生懸命に準備をすることができていました。自分たちで作ったおもちゃを試してみて、さらに園児が楽しめる方法や分かりやすくするにはどうしたらよいかという視点で、おもちゃを工夫したり、改良したりすることができました。

ふだん小学校ではお世話をしてもらう立場ですが、年下の子のお世話をする立場になって活動することはキャリア教育の面からもよい教育活動だと思います。今後も続けていきたいと考えています。

【恵日子ども園側から】

活動の始まり、終わりを告げるチャイムに気づき、帰園後に子どもたちから話題が上がりました。その後、「皆、お茶を飲んで来ようか」の声掛けの後にオルガンでチャイムの音階を弾くと、いつもの声掛けよりも楽しんで水筒置き場に行くことができていました。子どもたちのワクワクが伝わってきました。

玩具は動作の難しいものもありましたが、ルールを説明してもらったり見本を見せてもらったりする中で、1年生の子と自然にやり取りが生まれていたことが、とても良かったです。

園に帰ってから、手作りおもちゃを同じように作り出す子もいました。活動が楽しかったこと、1年生に対して憧れをもったことがよく伝わってきた時間でした。



近隣の園、小学校へ声をかけ、「遊びを通してどのような学びを得て深めているのか」「教科等による授業はどのように学びを深めているのか」互いを知り、交流・連携をすすめていきたいですね。